

◆ 晴海地域の交通について

晴海地域は、大会後の選手村のまちづくり等により、今後、更なる交通需要が見込まれます。こうした状況から、マルチモビリティステーションを整備し、BRTをはじめ、路線バスや、コミュニティサイクルなどを導入できるようにして暮らしの足を支えていきます。



● BRT（バス高速輸送システム）

東京の臨海地域では、豊洲市場の開場、環状2号線の整備、競技施設や選手村の整備などに加え、住宅開発などの建築工事も盛んに行われています。こうした一帯の交通需要の増加に速やかに対応し、地域の発展を支える新しい公共交通機関としてBRTの運行を計画しています。
 (「都心と臨海地域とを結ぶBRTに関する事業計画(2018年8月(改定))」より)

※運行計画について

環状2号線や選手村地区の整備状況に応じ、BRTの運行を順次拡大していきます。運行ルートについては周辺開発や需要増にあわせて、新たなルートや停留施設を設置することも検討しています。



● 路線バス

大会後の選手村のまちづくりや豊洲市場の整備など、臨海部の開発状況にあわせ、迅速かつ柔軟にバス路線を拡充することで、交通需要に的確に対応していきます。

● コミュニティサイクルなど

BRTの主要な停留施設に、コミュニティサイクルなどの地域内交通の乗継施設を整備します。